

2021年
6月1日号

町内会便り

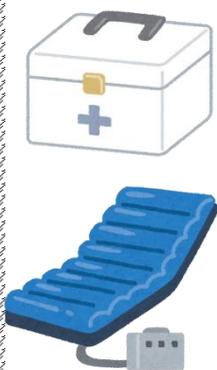
恵み野南

発行 恵み野南町内会
広報部連絡先(31)1596



南町内会HP

防災関連資機材点検を行いました



4月25日(日)9時30分から防災関連資機材の点検を行いました。この日は雨が時々落ちる寒い日でしたが、恵み野南町内自主防災会員17人が集まりました。当初は数量や保管状況の確認も行う予定でしたが、恵庭市内でのコロナウイルス感染者数が増大したため、急遽保管場所の確認を中心に行うこととしました。防災関連資機材の多くは南会館内の2か所に分散保管しており、入口付近に保管物及び数量が明示されています。また、発電機や投光器については実際に動作させ、問題がないことを確認しました。引き続き、アルプス公園に設置している防災ベンチ内の備品を確認も行い、解散となりました。今回はコロナの影響もあり一部の点検を割愛しましたが、年に1回の確認を継続し、万が一に備えていきたいと思えます。(自主防災会)



春の一斉清掃で綺麗になったね!



5月9日(日)7時30分から、『春の町内一斉清掃』が行われました。当日はちょっと肌寒い朝でしたが、昨年来の汚れを落とそうと多くの会員の皆様の参加をいただきました。今年初めての清掃ということもあり、8時を過ぎてもまだ作業中の区画も多かったようです。お疲れさまでした。お陰様で、路側帯や



植樹ますなど、とてもきれいになったと思えます。ありがとうございました。なお、7月4日(日)に予定していました町内会一斉清掃は、一旦延期とします。今後の予定については、現在のコロナ緊急事態宣言下の状況を踏まえ、次号(7月号)に改めてご案内いたします。今後ともご協力のほどよろしくお願いたします。次号では5月22日に花苗を植えた町内会花壇(花ひろば)の様子もあわせて報告を予定しています。(環境衛生部)

花壇や清掃等を担当する 環境衛生部のお仕事を お手伝いしていただける方を募集!

そろそろストーブも役目を終えた頃でしょうか。暖かい日差しとともに、会員の皆様の庭にも色とりどりの草花が咲き始めた頃でしょうか。これからは暑さとともに花の手入れ、花壇の清掃、植樹樹の雑草駆除等で町内会活動も忙しくなります。

今、町内会の花壇、清掃を面倒みるスタッフが1名欠員のままになっており、困っております。『町内の花壇をきれいにしたい』、『私たちの住環境をきれいにしたい』という方を募集中です。

私たちが住むエリアを一緒にきれいにしませんか!!

連絡先: 総務部 天坂 電話 090-5075-4545



◆◆◆ 8月までの毎月10日(9時頃)は花壇の花摘みや雑草除去を行っています! ◆◆◆

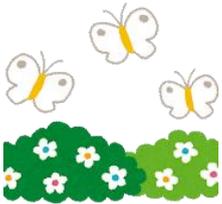
コロナ関連

5月中旬の回覧でお知らせしておりますが、5月30日(日)に予定していた“消火器訓練”は中止になっております。

北海道の緊急事態宣言に伴い恵庭市の公共施設も休館/閉鎖等を余儀なくされています。詳しくは恵庭市のHP(※)等にて確認願います。(広報部)

※ <https://www.city.eniwa.hokkaido.jp/kinkyu/corona/gakkou/index.html>

はなふるでいず に行ってみた



4月24日(土)、『はなふるにパンジーやビオラの苗を植えよう!』という催し“はなふるでいず1”が行われました。薄曇りでちょっと肌寒い日でしたが、二十数名(午前の部)の市民の方々が集まりました。早速2手に分かれて道の駅と、“虹色の鳥”に苗を植えました。数十分くらいでしたので、あまり多くを植えることはできませんでしたが、久しぶりの花苗植えでした。

その後、2班に分かれて、はなふるの中を散歩しながらガーデンエリアの7つの庭の説明を聞くことができました。私は、“虹色の鳥”の庭を造ったサンガーデンの土谷さんの班でした。面白いお話もいくつかありましたので、各庭の特徴を含めてガーデンエリアを簡単に紹介しましょう。

1. えこりん村キッチンガーデン(おいさが実る庭)

かのなの裏手にある庭です。えこりん村を運営する㈱アレフの銀河庭園チームの方が監修した野菜や果樹、ハーブの庭です。ハーブの香りに癒されそうです。



2. グラベルガーデン(発見の庭)

上野ファーム(旭川)の上野さんが監修したグラベル(砂利)に植物を植えた庭です。“え!”ってびっくりした庭です。どのような庭になっていくのでしょうか。楽しみ楽しみ。

3. 暮らしを恵む庭(みんなのいこいの花畑)

小さなお家の裏にあります。暮らしの中の“自分の家”の庭をイメージした庭です。以前にあった“いこいの花畑”からちょっとだけ命が続いています。



4. プレイグラウンド(自然の中の日常を楽しむ)

“十勝千年の森”の方が監修した庭で、傾斜のある地形や水辺を生かした“ホッとする”空間です。歩き疲れたら寝転んで空を見てもいいかもしれませんね。

5. 大きなカステラが焼ける庭(楽しいピクニックとゆっくり本が読める)

柏倉一統さんと佐藤末季さんが監修した庭です。カステラを焼いている訳ではありませんが、絵本「ぐりとぐら」に出てくるカステラを焼くイメージで造られた不思議な庭です。ちょっと変わった造形物がありますが、本棚だそうです。でも本は置けません。その前にはブドウが植えられているとのこと、大きくなったらワインができるのかな?

6. ミチノモリ(四季の移ろいを楽しむ森の散歩道)

センターハウスの前にあり、“イコロの森”の方が監修した庭です。色とりどりの木の枝が冬景色に彩を与えてくれるようになるそうです。こちらも楽しみ。

7. 虹色の鳥(花と風の丘)

ミチノモリの坂道を登って降りてくるところにある花畑です。案内していただいた土谷美紀さんが監修した庭で、形は鳥(ハチドリ)をイメージしたそうです。色とりどり(虹)の花々が咲き乱れるまさに“花畑”です。心もうきうきしようですね。

ガーデンエリアは徐々にその特徴が形づくられていくようですので、今年、来年、更にその先というように毎年楽しめそうです。ベンチが少ないのが気になりました。

コロナウイルス次第かもしれませんが、“はなふる”ではこれからも『ラベンダーの刈り込みをしよう!』などのイベントが計画されています。皆様も参加してみたいですか? (広報部)



出典: はなふるホームページ (<https://hanafuru.jp/>)

冊子「花の拠点 はなふる」